平成29年（2017年）7月27日発行

八幡市議会だより

No. 204

〒614-8501　京都府八幡市八幡園内75番地
TEL 075-983-1111　FAX 075-982-9880
八幡市・八幡市議会ホームページアドレス
http://www.city.yawata.kyoto.jp/

発行：八幡市議会
編集：広報編集会議

松花堂　七夕まつり

CONTENTS

平成29年第２回定例会（6月議会）の概要 ―― 2ページ
一般質問 ―― 3～11ページ
委員会審査報告 ―― 12～15ページ
議決結果一覧 ―― 16ページ

再生紙を使用しています

平成29年第2回定例会

平成29年度一般会計補正予算案など21議案を可決・同意

平成29年第2回定例会は、6月9日から6月29日までの21日間の会期で開きました。

市長提出議案は、平成29年度一般会計補正予算案1件、条例改正案5件、人事案14件、報告5件、合計25件の提出がありました。また、議員から意見書案1件、市民から陳情・要望1件が提出されました。

審議の結果、市長提出議案は、すべて原案を可決・同意し、議員提出の意見書案1件は可決、市民提出の陳情・要望1件（陳情・要望第4号）は審議未了となりました。

なお、今定例会では16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

主な議決内容

平成29年度補正予算案を可決

平成29年度の一般会計を1億7472万4千円増額し、251億3472万4千円とする補正予算案を可決しました。

主な補正予算案は次のとおりです。

●庁舎整備事業費（1700万円）

国の時限的な財政措置を活用して庁舎整備を進めることとしており、整備に係る基本計画策定等を委託する経費です。

●コミュニティ事業費（200万円）

宝くじ収益を財源としたコミュニティ助成金を活用し、自治会交流活動備品の整備を支援するための経費です。

●民間保育所振興費（500万円）

くすのき保育園の耐震改修工事に助成を行うこととしており、社会福祉法人若竹福祉会への助成を行うための経費です。

●地産地消推進事業費（528万6000円）

八幡市西部特栽米組合の農業機械導入に助成を行うための経費です。

●単独道路等整備事業費（9400万円）

二階堂川口線、橋本南山線等の道路改良を行うための経費です。

●市民スポーツ施設・都市公園等管理費（4000万円）

公園施設長寿命化計画に基づいて、市民体育館屋根改修工事等を行うための経費です。

●研究指定校委託事業費（18万4000円）

美濃山小学校において、表現活動を取り入れた主体的・対話的な授業の創造の実践研究を行うための経費です。

八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の育児休業等に関する人事院規則の改正に準じ、八幡市職員の育児休業等に関する条例を改正しました。その内容は、再度の育児短時間勤務は、特別の事情があれば取得ができましたが、その特別の事情に、保育所等の利用申し込みを行ったにもかかわらず保育所等に入所できていない場合を加えて、再取得や期間延長の取り扱いを明確化するものです。

八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、八幡市都市計画税条例を改正するものです。通称わがまち特例の新設規定を定めたもので、平成30年度以後の都市計画税について適用することにしています。その内容は、政府の補助を受けた企業主導型保育事業の用に供する土地、家屋等、また都市緑地法に規定する緑地保全・緑化推進法人が市民緑地設置管理計画に基づき設置した市民緑地の用に供する土地に係る都市計画税の課税標準となるべき価格に乗ずる特例率を規定するものです。

農業委員会委員の任命について

農業委員会等に関する法律の改正及び農業委員会委員の任期満了に伴い、西川　吉之（にしかわ　よしゆき）氏、辻　典彦（つじ　のりひこ）氏、古里　治彦（ふるさと　はるひこ）氏、上野　信昭（うえの　のぶあき）氏、野村　一郎（のむら　いちろう）氏、福井　仁司（ふくい　ひとし）氏、長村　信幸（おさむら　のぶゆき）氏、山村　敏昭（やまむら　としあき）氏、中村　重俊（なかむら　しげとし）氏、石田　光則（いしだ　みつのり）氏、奥村　芳治（おくむら　よしはる）氏、谷口　久美子（たにぐち　くみこ）氏、佐野　安（さの　やすし）氏、猪飼　美和子（いかい　みわこ）氏を任命することに同意しました。任期は7月20日から3年間。

澱川右岸水防事務組合議会議員2名の選挙について

本市選出の澱川右岸水防事務組合議会議員2名の任期満了に伴い、引き続き井上　盛雄（いのうえ　しげお）氏及び森口　智之（もりぐち　さとし）氏を選出しました。任期は平成29年7月30日から4年間。

全国市議会議長会表彰及び山城地区議長連絡協議会感謝状

第93回全国市議会議長会定期総会において、長村善平議員が議員在職15年以上、山田芳彦議員と菱田明儀議員が議員在職10年以上の表彰を受けられました。また、山城地区議長連絡協議会定例会において、小北幸博議員が感謝状を受けられ、それぞれ6月9日の本会議で伝達されました。

一般質問

市政を問う

平成29年第2回定例会では、6月13日・15日・20日・22日の4日間にわたって、16人の議員が一般質問を行いました。

質問項目は、左記に掲載しています。なお、4頁～11頁に、質問と答弁の一部要旨を掲載しています。

一般質問項目一覧

太田克彦 議員
- 安心・安全のまちづくりについて
- 空き家対策について
- 介護事業について
- 障がい者支援について
- 上下水道事業について

中村正公 議員
- 橋本駅周辺整備について
- 公共工事設計労務単価について
- 就学援助の充実について
- 学校教育における学期制について

田島祥充 議員
- 子どもの見守りについて
- 防犯対策について
- 市内各種団体対応について
- 市制施行40周年について
- 男山地域再生について

亀田優子 議員
- 公共施設等総合管理計画について
- マイナンバーについて
- 介護保険行政について
- 障害福祉行政について
- 学校給食について

山本邦夫 議員
- 核兵器廃絶について
- 原発ゼロについて
- 住み続けられる男山団地の再生について
- プラスチック廃棄物について
- 国民健康保険について

鷹野雅生 議員
- 観光振興について

奥村順一 議員
- 広域交流エリアについて
- 都市形成について
- 安心で住み続けることの出来るまちについて

岡田秀子 議員
- 市制施行40周年記念事業について
- 第3次食育推進基本計画について
- 子どもの貧困について
- がん対策について
- 子どもの健康支援について
- 脳脊髄液減少症支援について

中村正臣 議員
- 防災について
- 交通安全について
- 観光振興について

近藤恒史 議員
- 住みよいまちづくりについて
- 子育てしやすいまちづくりについて

巌博 議員
- 部落差別の解消の推進に関する法律について
- 市内の公共交通について
- 八幡山田地域の盛土について

長村善平 議員
- 米の生産調整に向けた対応について
- 八幡市債権管理条例について
- 国民健康保険料の徴収について
- 中学校給食と栄養教諭について

清水章好 議員
- 交通安全対策について
- 公共施設の飲み水について
- 街の景観について

山田美鈴 議員
- 原子力防災について
- 本市の防災・災害対策について
- 環境にやさしいまちづくりへの取り組みについて

山口克浩 議員
- スポーツと教育行政について
- 障がい者福祉について

横山博 議員
- 年金制度について
- 子育て環境について
- 安心・安全のまちづくりについて

会議録の閲覧を!

検索サイトで
八幡市議会 会議録
を入力して 検索

インターネットでも閲覧できます

市議会だよりは、紙面の都合で一般質問の一部を掲載しています。詳しくは、情報公開コーナー（市役所2階）や市民図書館に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも閲覧できます。

第2回定例会の会議録は9月上旬（インターネットは9月中旬）から閲覧できます。

防災・介護事業・上下水道事業等について

公明党議員団
太田　克彦議員

Q ❶防災対策について、八幡市地域防災計画では災害時に小学校の給食調理室等を利用して炊き出しを実施するとありますが、地震等によりガスが止まった時でも利用できるプロパンガス対応に更新すべきではないですか。❷介護事業について、将来にわたり安定的に人材の確保を図ると同時に専門の資格者である介護福祉士（国家資格）取得のため、実務者研修受講の助成制度を創設できないでしょうか。また、介護中の介護者への誤解・偏見を受けないようにするための介護マークの導入・普及に取り組んでは頂けないでしょうか。❸下水道事業については、老朽管の更新等整備財源の確保も必要と考えますが、国補助金や下水道基金等の活用が可能と思うので、市民負担軽減を図るためにも水道料金の改定とあわせて下水道使用料の改定も同時に検討すべきと考えますがいかがでしょうか。

A **教育部長**　❶学校の調理室については、次の給食室大規模改修時に一部設備をプロパンガス対応で整備する検討をします。

健康部長　❷実務者研修については、研修の受講は個人のスキルを向上させる上での一つの手段であることは理解しています。近隣の状況などについて、今後研究します。また、介護マークについては、今後近隣の取り組み成果を参考に検討します。

堀口市長　❸下水道使用料については、水道料金改定に伴う市民負担の軽減を図るため、城南衛生管理組合のし尿投入などによる増収を考慮し、改定を検討します。

旧八幡東小学校防災備蓄室

橋本駅周辺整備について

日本共産党
八幡市議会議員団
中村　正公議員

Q ❶橋本駅周辺整備に関する都市計画について、京都府の平成28年5月付の都市計画区域マスタープランによれば、主要用途の配置の方針の商業地の中に橋本駅周辺区域も挙げられ、都市基盤施設の整備状況を勘案しつつ、日常的な商業需要に対応する地区中心的な商業機能の配置を図るとあります。市街地における建物の密度に関する方針では、高密度利用を図るべき区域の中に橋本周辺が挙げられています。この方針に沿って橋本駅周辺整備が進められるのでしょうか。これには駅西側の商業地域も対象になっていますが、どうお考えですか。❷今回、橋本駅周辺整備事業の予備設計業務委託でコンサル入札が行われました。設計業務内容に駅広場基本設計、対象が5千平方メートルとありますが、これに含まれる区域はどの範囲ですか。

A **都市整備部長**　❶京都府の都市計画区域マスタープラン、また八幡市都市計画マスタープランにお示しした土地利用方針に基づき進めることとしていますが、今回の整備エリアは隣接枚方市域内の商業施設が計画されるなど、各種計画立案時と変化が生じています。今後、計画や地域の実情等を十分に精査し、地権者及び地元自治会の意見もお聞きしながら、橋本駅西側も含め検討する必要があると考えています。❷おおむね京阪電鉄橋本駅、京阪電鉄津田電線踏切と橋本公民館で囲まれる三角地、約5千平方メートルです。土地や建物等の権利関係調査を現在進めています。

橋本南山線から駅方向を望む

本市の防犯対策、名誉市民、男山地域の再生について

八幡みらいクラブ　田島　祥充議員

Q ❶犯罪者の犯罪抑止に小・中学校と通学路へ防犯カメラを増設するべきと思いますが、本市の考えをお聞かせ下さい。❷名誉市民に相応しい方がいる場合に対応できるようにしておく必要があると思いますが本市の考えをお聞かせ下さい。❸男山団地B地区がエレベーター設置に至った経緯をお聞かせ下さい。

A **教育長**　❶小・中学校への設置については、平成27年度は男山第二中学校へ、今年度は男山中学校へ、順次全ての中学校に設置を考えています。小学校への設置は現時点では考えていません。

総務部長　❶通学路への設置については、安全対策を重点的に警察と協議の上で進めていきます。

政策推進部長　❷名誉市民は本市表彰条例の中で最高位のものと捉え、有功者表彰よりも更に上位として位置づける必要があるとの認識で、条例で位置づけ、議会の承認を経て選定すべきと考えます。今後どのような制度として運営するのがベストなのか等も含めて調査研究します。

丹下副市長　❸男山団地A地区は子育てをテーマにおひさまテラスの開設やリノベーション住戸を供給、C地区は住民のセルフリノベーションをテーマにココロミタウンとして原状回復不要のDIY住宅の供給等がなされ、B地区は地域医療福祉拠点化をテーマに地域包括ケア複合施設YMBTの開設や健康寿命サポート住宅の供給等、UR都市機構の全国的な地域医療福祉拠点化の取り組みの一貫としてエレベーターの設置となりました。

男山第二中学校の防犯カメラ

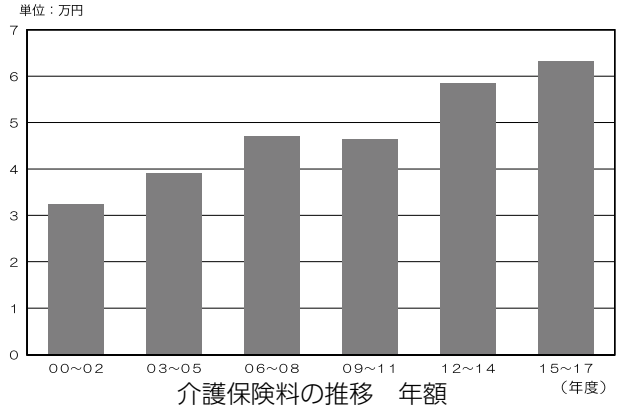
庁舎整備について、介護サービス料の負担軽減について

日本共産党　八幡市議会議員団　亀田　優子議員

Q ❶今年度、庁舎建てかえについての基本方針、基本計画を策定することになっていますが、現在の敷地での建てかえということで進めているのですか。建てかえについて、住民説明会などで広く市民の意見を聞く必要があるのではないでしょうか。❷介護保険料は、制度開始以来、基準額で年間6万3300円と約2倍に増加しています。介護サービス利用料の負担も重く介護抑制が懸念されます。介護サービスを提供する社会福祉法人が利用者負担を軽減する制度として社会福祉法人減免制度がありますが、八幡市では府下の自治体の中でも極端に利用者が少ないことがわかりました。制度のこれまでの実績、他の自治体の利用状況、利用を増やすための課題を教えてください。

A **総務部長**　❶建設地については、八幡市庁舎整備検討特別委員会での議論を踏まえ、現実的な視点から、現在の敷地での建てかえを基本に進めています。市民説明会については、基本計画がまとまってから、基本設計に向けてパブリックコメントを行いたいと考えています。

健康部長　❷制度の利用実績は、平成24年度1人、25年度2人、26年度3人、27年度2人、28年度1人です。近隣市の平成27年度実績は、京田辺市が45人、城陽市が15人、木津川市が5人です。制度の周知が十分でなかったことが利用の少ない要因の一つと考えています。今後、社会福祉法人等の取り組み状況を確認し、課題を整理して運用の改善を図っていきます。



介護保険料の推移　年額

核兵器廃絶／男山団地の住環境整備

日本共産党
八幡市議会議員団
山本　邦夫議員

Q ❶市の非核平和都市宣言は、核兵器廃絶を内外に働きかけるとしています。八幡市は、平和首長会議に未参加です。参加すべきではないでしょうか。国連では7月まで核兵器禁止条約締結に向けた会議が開かれています。核兵器を違法化する画期的なできごとです。核兵器禁止条約についてどんな認識を持っていますか。❷長年、UR男山団地にエレベーター設置を求めてきました。2018年度中にB地区に10基設置されることとなり、貴重な前進です。今後、計画的に設置を進めることが必要ではないでしょうか。❸男山団地に開設された「高齢者あんしんサポートハウス」は好評です。市で2ヶ所目の設置を検討してはいかがでしょうか。

A **堀口市長**　❶平和首長会議について、私が参加したいという必要性を感じない限り、参加できないという考えです。私は核兵器が廃絶されることは人類にとって好ましいと思いますが、基本的には外交権を持つ政府において個別に判断されるべきと思います。❷男山団地のエレベーター設置について、今後は四者協定（府、市、UR、関西大学）でURに取り組みを要請していきますが、市として指導的に計画的にというまでには至らないと考えています。

健康部長　❸あんしんサポートハウスは介護保険施設全般の整備の中で検討する必要があります。平成30年度から実施される第7期介護保険事業計画の策定委員会で、必要性も含め協議します。

エレベーター設置予定の男山団地（写真はB44、45棟）

観光振興はまちづくり、まちの魅力を高めるために

八幡みらいクラブ
鷹野　雅生議員

Q ❶観光客の消費額に視点を置いて、2015年に八幡市を訪れた観光客は181万人で1人当たりの観光消費額はわずか277円です。この数字を喫緊の課題として受けとめ、魅力あふれたまちづくりを観光対策の柱と位置づけ、取り組みを強化し、スピードアップして頂くことを提案します。今や、京都市へ集中していた観光客が、京都市の垣根を越えて、府下全市町村へ広がりつつあります。この時代の大きな流れ、変化を受けとめ、観光とどのように取り組んでいかれるのか、市長の基本方針をお伺いします。❷男山展望台の眺望について、以前は竹や樹木が繁茂し、眺望が開けていなかった展望台ですが、ここ数年以来、「NPO法人八幡たけくらぶ」と「NPO法人とんかち」で構成される八幡市里山再生協議会の皆様による展望台下部の林の伐採により、すばらしいパノラマが広がっています。しかし、残念なことに、視界のど真ん中に電柱が立ち、電線が横切っています。よりよい眺望を確保・改善するために、対策を講じる考えはありませんか。

A **堀口市長**　❶本市の観光を取り巻く環境については、追い風が吹いている状況と感じています。八幡市駅前整備等観光まちづくり構想の取り組みを進め、来訪者が満足できる付加価値を創出できるよう進めていきます。

環境経済部長　❷男山展望台は四季折々の美しさがあり、本市の重要な観光ポイントの一つであることから、電線が眺望の支障とならないよう検討します。

男山展望台から見る眺望

広域交流エリア・災害時の飲水・生活水について

八幡みらいクラブ
奥村　順一議員

Q ❶桜の開花時期の背割堤付近の交通渋滞、乙訓地域とのバス運行について。❷背割堤地区の桜の時期以外の活用と訪問客をお迎えする施策について。❸木津川左岸右岸の連携と本市東部と城陽市を繋ぐ橋の必要性について。❹本市の未来のまちづくりに向かっての近隣市町との連携について。❺災害時の応急給水について。

A **環境経済部長**　❶交通渋滞については、予想を超える人出となり、対応が困難な状況と認識しています。

都市整備部長　❶バス運行については、八幡市駅周辺の整備や運行事業者の意向等課題が多く困難と考えています。今後実施の可能性について研究を進めたいと考えます。

環境経済部長　❷利活用等の情報発信を強化したいと考えます。「淀川三川合流域地域づくり情報連絡会」の設置が進められ本市も参画し来訪者への施策について調整・協議を行いたいと考えます。

都市整備部長　❸木津川左岸右岸の新たな交通の流れが生まれ、交通ネットワークの充実は不可欠です。一般道で本市と木津川右岸域を結ぶ新たな経路が必要と考えており、城陽市と協力して京都府へ要望活動を行っています。

堀口市長　❹お茶の京都DMOの活用、京田辺市と市域が面していることから共同で土地活用を行うことが大切と考えます。

上下水道部長　❺配水池の貯水量は応急給水の目標値で10日分の供給水量があり、消火栓から直接供給できる応急給水用機材は2基保有しています。

八幡市都市計画総括図

八幡市都市計画総括図（抜粋）

市制施行40周年事業・子どもの貧困対策等について

公明党議員団
岡田　秀子議員

Q ❶市制施行40周年事業に合わせて、八幡市ゆかりのある方々に、PR大使になって頂き、若い世代に八幡の魅力を知って頂く為の大同窓会を行ってはどうか。記念に持ち帰りができるオリジナル婚姻届と出生届を作成されてはどうか。市の判断で導入できる原付バイクのご当地ナンバープレートを作成してはどうか。❷学校での朝食の提供や制服等のリユース、子ども食堂の支援を進めるべきではないか。就学援助の前倒し支給、補助金の単価増額は3月10日衆議院の文部科学委員会で公明党富田茂之議員の指摘により義家文部科学副大臣が「速やかに行いたい」と明言し実現。対象者への通知はどうされるのか。里帰り出産での児童手当の申請漏れの対策をするべきではないか。

A **堀口市長**　❶PR大使・大同窓会については、今後どのような時期、手法、効果について調査検討したい。

市民部長　❶オリジナル婚姻届と出生届と原付バイクのご当地ナンバープレートについては、近隣の導入状況を踏まえ検討したい。

教育部次長　❷学校での朝食・制服のリユースについては、平成30年度の満足調査で調査項目として可能か検討したい。就学援助費の増額分は、6月中に支給します。在籍校より通知しています。

福祉部長　❷子ども食堂への支援については、団体から要望があればフードバンクとの連携や運営者への協力も検討したい。児童手当の申請漏れについては、庁内での連携化の対応や申請漏れへの勧奨も検討したい。

安心・安全・魅力あるまちづくり

自由クラブ 中村　正臣議員

Q ❶京都府主催防災訓練に参加する団体、その人員、訓練内容は。また、発災型の訓練を行っては。❷消防力の強化、防災関連団体の連携の強化は。❸各小学校区における朝夕のボランティアの方々の傷害保険等は。❹通学路の生徒への安全対策は。また、ハード面の対応は。❺八幡市観光の強みと弱みについて。❻他自治体との広域連携は。❼背割堤付近の駐車場整備、拡大等は。❽さくらであい館の今後の事業展開は。

A **丹下副市長** ❶京都府を始め近隣行政機関他七十以上の団体が参加し、参加人員は千人規模の予定。内容は府庁の災害対策本部会議訓練、現地対応訓練等を組み込む。発災型防災訓練は京都府総合防災訓練の開催候補地に選ばれた際に今後も行う。❷毎年防災会議を開催する中で、各団体の役割や連携について再認識している。

教育部次長 ❸ボランティア保険、京都府ＰＴＡ安全会傷害保険等が適用される。❹安全確保では、学級指導での注意喚起、下校時間を早めるなどの対応をしている。

都市整備部長 ❹街路灯設置は、現地確認後対応する。

環境経済部長 ❺駐車場、食事場所の対策は若干充実してきている。観光客と市民が交流する出会いの門前町の創出の戦略に基づき検討する。❻お茶の京都ＤＭＯを通じ、府南部12市町村と連携強化を新たに行う。❼淀川河川事務所など関係機関と協議する。

都市整備部長 ❽淀川三川合流域地域づくり情報連絡会の設置が提案され、本市も積極的に関わる。

背割堤

子育てしやすく、住みよいまちづくり

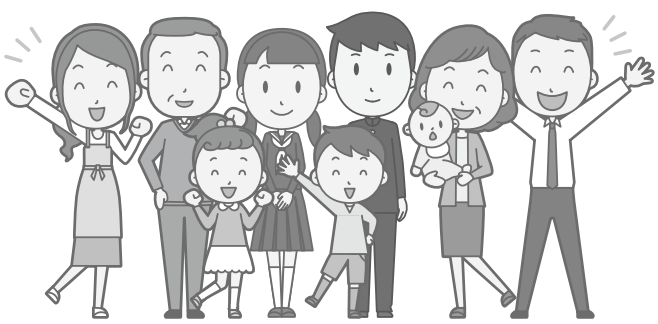
民主共生クラブ 近藤　恒史議員

Q ❶本市子育て施策で、他市に負けない、すぐれていると思う点を、お聞かせください。❷橋本南山線の今現在の交通量の把握、さらには大型商業施設がオープンしてからの交通量の把握の必要性、実際に調査して検討するなど、どのようにお考えですか。❸中学校給食について、残ってしまう給食を無駄にせず、おかわりが自由にできる、常に子どもたちが満足できる状態にはどうするべきか、お考えをお聞かせください。

A **丹下副市長** ❶保育園の待機児童がいないことや、子育て支援センターを市内3カ所で開設していること、生後6カ月から小学四年生を対象に、病児保育を市内2カ所の病院で実施していること、平成27年4月から通院に係る医療費助成を中学校卒業まで拡充し、新規事業として、身体発育や運動発達などが心配される乳幼児について、小児科医師による診察や相談が受けられる乳幼児発達クリニックを開始したこと、本年5月1日から親子方式による中学校給食を開始したことなどです。

都市整備部長 ❷今年度、将来の交通量と比較のために、橋本駅南交差点付近の交通量調査を行う予定です。

教育部長 ❸食べる量には、個人やクラスによって差があることは承知しています。小学校では、学級や学年間で残食が出ないよう対応している状況があり、それを参考に中学校でも食べ残しを減らし、しっかり食べることができる方法を生徒に考えさせるなどの取り組みを進めていきたいと考えています。



部落差別の解消と八幡山田地域の盛り土問題について

日本共産党 八幡市議会議員団 巌　博議員

Q ❶部落差別の解消の推進に関する法律が、2016年12月16日に公布されましたが、市は同法の認識についてどのように考えているのでしょうか。❷部落差別の実態調査は可能でしょうか。市の考えをお教えください。❸参議院法務委員会で可決された附帯決議について、市の認識と評価をお教えください。❹八幡山田地域の盛り土問題で、原状回復に向け、府と市の協議はどのようにされてきたのでしょうか、お教えください。

A **市民部長**　❶現在も部落差別が存在すること、日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識を明確にされ、部落差別のない社会の実現を目指すという理念法であると受けとめています。❷現在の段階ではどのような調査を実施するのか示されていません。附帯決議にも示されているように、当該調査により新たな差別を生むことがないよう留意しつつ、それが部落差別の解消に資するものとなるよう、その内容、手法について慎重に検討されているものと考えています。❸部落差別のない社会を実現することを目的として定められた法律の内容を補完するものであると考えています。参議院法務委員会での議論をもとに作成されたものであることから、市としての評価は差し控えます。

環境経済部長　❹京都府と行政指導及び行政処分について、定期的に協議をしています。今後も引き続き府と連携し、事業施行者に対して、原状回復するよう指導していきます。

八幡山田地域の盛り土

米の減反政策の見直しについて

民主共生クラブ 長村　善平議員

Q ❶減反政策についてでありますが、今年田植えされた米までは、米の生産数値目標は、京都府の方から各市町村に通知されてきました。しかし平成30年産米からは、これを見直すということですが、京都府及び本市においては、誰が目標数値を各地区に通知していたのですか。この目標数値決定に至る手順と、今後これがどのように見直されるのか、また本市が独自に行っている米の目標達成地区に対する助成制度はどうなっていくのか、お聞かせください。

A **環境経済部長**　❶国においては、行政関与による米の生産調整を、平成30年産から廃止され、生産者がみずからの経営判断、販売戦略に基づき、生産量を調整する方針へ移行することが決定されています。京都府におきましても、5月22日に開催された京都府農業再生協議会において、生産数量目標の配分を提示しないということが決定されました。平成29年産米の配分については、国及び京都府からの通知に基づき、八幡市農業再生協議会臨時総会において決定し、八幡市農業再生協議会会長から各農家実行組合長に通知しました。平成30年産米以降は、国及び京都府からの需要、販売に関する情報提供されると伺っています。また本市独自の助成制度については、水稲目標作付面積の達成地区に対する助成であることから、廃止も含めた制度の見直しが必要であると考えています。

八幡市内の田園風景

自転車運転に係る安全対策、環境行政について

公明党議員団
清水　章好議員

Q ❶自転車活用推進法施行に伴い自転車専用通行帯を整備し、また通学路近辺に自転車マークなどの路面標示をし、また標示が出来ない所は、自転車マナーを守る啓発看板を設置できないでしょうか。❷一部で導入済の自転車運転免許証を全小学校へ導入のお考えはありませんか。❸昨年、いち早く八幡山田地域の盛土に関して、地域住民の不安を解消するため取り上げました。現在は盛土に雑草が繁茂し、家具、廃材等が放置されています。外部者が進入できないように車止めや柵を設置して頂きたいのですが。日頃、環境美化活動に携わって頂いたグループを顕彰し、腰痛対策として支給されているトング（ハサミ）の長さを450から600ミリメートルに変更し、車から目立つ安全喚起ベストを作成、支給して頂いてはどうでしょうか。

A **都市整備部長**　❶路面標示等整備は、自転車を利用しやすい環境を整えていく必要があるものと認識し、また通学路での路面標示は大変重要なものであると認識し、また啓発看板については設置費用等検討します。

教育部長　❷低学年の間に交通ルールの徹底と正しい乗り方が身につけられるよう、今年度全ての小学校のいずれかの学年で自転車免許の取り組みを実施します。

環境経済部長　❸侵入防止策としてフェンスで完全に封鎖し、事業施行者に指導します。顕彰は、活動状況を踏まえ検証・検討し、トングの長さは、600ミリメートルのものも検討し、安全喚起ベストは、貸与を検討します。

環境美化路面標示

放射性プルーム汚染と災害対策・地区防災計画進捗状況

無会派
山田　美鈴議員

Q ❶若狭湾周辺の原発事故が起きた際には、放射性プルームによる放射能被曝の恐れが懸念されています。本市の過去の見解では「屋内退避」対応とのことですが、プルーム飛散時にはどの段階で、どのような空間線量の基準で「屋内退避」の指示を出されるのですか。また、時系列でまとめた「屋内退避」時の災害対策を教えてください。❷地区防災計画の進捗状況を教えてください。❸日本防災士機構に名簿などの問い合せをして、八幡市在住の防災士資格者の確認、把握を行っていただき、防災・災害時での本市との連携、協力や話し合いの場を設け、資格者が活躍できる場を提供していただきたい。❹災害等での活用として、乳児用液体ミルク導入の議論が厚生労働省で進んでいます。導入された場合、本市の備蓄品に加えていただきたい。

A **総務部技監**　❶京都府のモニタリングポストでの緊急計測で、一時間当たり20μSv（マイクロシーベルト）の放射線量が市内に到達見込みと判断された場合、屋内退避の指示を行うことになると考えています。

堀口市長　❶時系列での対策については、そこまではまだ至っていません。

総務部技監　❷個々の自主防災組織に地区防災計画の作成をお願いしています。本市総合計画への記載については、今後も協議を進めていきます。❸防災士については、まずは活用できるか調査をした上で判断したいと考えています。❹国内で備蓄できる状態が整った場合に、検討したいと考えています。

導入の議論が進む乳児用液体ミルク

障がい者福祉について

やわた改新倶楽部
山口　克浩議員

Q ❶本市の障がい者福祉の課題として、相談支援体制の拡充や日中活動の場の確保、障がい者が施設等から地域社会で自立した生活を送れるよう、地域生活への移行の促進などが考えられます。精神障がいや精神疾患を持っておられる方への支援策を含め、本市の対応をお聞かせください。

A **福祉部長**　❶障害者差別解消法に基づき、障がい者やその家族が身近に相談できる窓口として、昨年度から障がい者一般相談事業所を新たに2カ所ふやし、市内3カ所での相談体制を整えています。本市における精神障がい者への支援においては、精神障がい者支援ボランティアグループフレンドが、精神疾患が見受けられるが受診ができない、精神疾患により社会参加ができず家にひきこもりになるなどの方に対し、ボランティアによる憩いの場を毎週開催し、加えて、ひきこもりなどの精神障がい者や精神障がい者を抱える家族に対する相談事業として、フレンド電話という電話による傾聴相談事業を行っています。本市においては、グループワークを月2回開催し、医療機関に受診している回復期にある精神障がい者に対し、地域に出て活動するきっかけづくりとしての事業を実施しているところです。さらに、本市委託事業として、社会福祉協議会が福祉会館において八幡市地域活動支援センターやまびことして、障がい福祉サービスにつながらない精神の方を含めた障がい者の居場所づくりとして、創作活動やレクリエーション活動を行っています。

八幡市立福祉会館　ピア・カウンセリングルーム

無年金者をなくす取り組みについて

やわた改新倶楽部
横山　博議員

Q 国家の礎の二つは、安全保障と社会保障です。国民皆年金の土台をなす老齢基礎年金について伺います。❶本市の生活保護世帯の年金受給実態について問います。生活保護世帯数と内高齢者世帯数・割合は。内無年金者世帯数・割合は。本市の特徴は。❷本市の年金保険料納付状況について、教えてください。❸納付率向上のために成すべき役割や、日本年金機構と協力できることについてはどのようにお考えですか。本市として無年金者をなくす対応策、取り組みについてお考えをお聞かせください。

A **福祉部長**　❶平成28年度月平均は1080世帯で過去最高、内高齢者世帯は514世帯で47・6％です。平成29年3月末時点で年金による収入のない高齢者世帯数は245世帯で、全体の45・8％です。特徴としては、母子世帯の割合が高く、全国平均の5・8％に比し11・3％です。高齢者世帯は国と同様に増加傾向にあります。

市民部長　❷平成29年度3月末現在の第1号被保険者数は9466人、納付率は62・2％です。❸保険料の徴収事務については、法定受託事務には含まれておらず、日本年金機構から納付率向上対策は求められていません。保険料納付率向上については、年金制度周知のための広報や窓口相談等を通じて理解促進が重要であると考えています。無年金者をなくすためには、日本年金機構と協力、連携の上、適正な事務を遂行し、市民に対しては丁寧な窓口対応が重要であると考えています。

年金手帳

意見書案

第2回定例会では、議員から次の意見書案が提出され、原案どおり可決しました。

●北朝鮮による核実験及びミサイル発射の自制を求める意見書案（意見書案第2号）

提出者　菱田明儀
賛成者　長村善平　小北幸博　岡田秀子　鷹野雅生
　　山本邦夫　山口克浩　中村正臣
提出先　衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
　　内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣
　　国家公安委員会委員長
要　旨　日本政府は、国民の安全確保と的確な情報提供に万全を尽くし、北朝鮮への経済制裁がより効果的になるよう関係国への働きかけを更に強め、日米韓をはじめ中国も含めた国際連携を強めて、核実験と弾道ミサイル発射が繰り返されることのないよう、強い危機感を持って更なる外交努力を尽くすよう求めます。
審議結果＝全員賛成で原案可決

委員会審査報告

第2回定例会における委員会審査の概要は次のとおりです。
なお、15頁に常任委員会に付託された議案審査結果を掲載しています。
（議案名は16頁の議案議決結果一覧表を参照）
（注）報告番号と質疑番号は連動しています。

文教厚生常任委員会

第2回定例会委員会報告（6月23日開催）

所管部から11件の報告

教育部2件、健康部6件、福祉部3件の報告があり、質疑がなされました。

教育部

〈所管事項審査〉
（報告）①平成29年度八幡市立小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）の結果について
②中学校給食について
③その他
（質疑）①クラス担任をしている講師の人数・割合について
①特別支援学級の開設基準について
①35人以下学級の学校・学年の状況について
①36人以上学級の学校・学年の状況について
①児童・生徒数減少の要因について
②給食時間が男山第三中学校だけ違う理由について
②中学校給食の温度管理の状況について
②中学校給食に関する生徒の声及び配送経路のローテーションについて
③学力No.1の取り組みと成果について
③中学校における学力の格差について
③中学校クラブ活動における講師の人数について
③いじめ対策と現状について
③学校施設の不備による事故の発生数と対策について
③新入学学用品費の前倒し支給について
③夏の地域学校の内容について
③陸上交歓記録会の内容と対象及び太陽が丘陸上競技場での開催について
③中学校のエアコン設置が100%でない理由について
③スタディサポート事業の進捗状況について
③女性教職員の産休取得人数と代替教職員の配置状況について
③妊娠した教職員への児童生徒軽減措置について
③教職員の休憩時間の取得状況について
③旧第四小学校、旧第五小学校、旧東小学校の体育館及びグラウンドの利用状況について
③中学校クラブ活動における外部指導者の活用状況について
③教職員の残業時間、業務内容の実態把握及び対策について

健康部

〈所管事項審査〉
（報告）①平成29年度「敬老のつどい」の開催日程について
②第7期介護保険事業計画に伴うアンケート調査結果について
③やわたスマートウェルネスシティ構想について
④八幡市健幸クラウドについて
⑤平成28年度保険料収納状況について
⑥平成29年度国民健康保険料について
⑦その他
（質疑）①敬老のつどいの参加人数実績と自治会からの要望について
②今回のアンケート調査対象を3000人とした理由について
②アンケート調査にかかる地域活動の参加希望者への対応について
②認知症の方に取り組んでいる事業について
②今後、市民に必要なサービスについて
②アンケート調査報告書の公表について
②やわたスマートウェルネスシティ構想の公開について
②ウォーキングイベントの実績について
②在宅介護実態調査の方法について
②調査結果に基づく必要なサービスについて
②介護者が仕事を辞めた分析について
②日常生活圏域ニーズ調査の結果について
②自由記述欄の設定について
②アンケート調査にかかる全国統一項目について
②アンケート調査で重要視しているポイントについて
②アンケート調査結果に基づく課題について
③やわたスマートウェルネスシティ構想のまちづくりへの活用について
③やわたスマートウェルネスシティ構想の具体化へのスケジュールについて
③スマートウェルネスを進める対象について
③やわたスマートウェルネスシティ構想の専属部署について
④有都小学校区と美濃山小学校区との差について

④小学校区単位での分析について
⑤国民健康保険料の特別徴収と普通徴収の徴収率について
⑤差し押さえ件数及び金額について
⑦市内のサービス付高齢者住宅の規模及び入居状況について
⑦国民健康保険料の他市の状況について
⑦京都地方税機構への移管による納付相談について
⑦他市の京都地方税機構への移管状況について
⑦債権放棄の議会への報告について
⑦債権管理条例による議会承認について

福祉部

〈所管事項審査〉
（報告）①平成29年度公・私立保育園・認定こども園及び公立幼稚園の園児数について
②平成29年度放課後児童健全育成施設入所児童数について
③都児童センターの休館および有都交流センターへの機能の移転について
④その他
（質疑）①なるみ幼稚園と市外の園児数について
①過去5年間の就学前児童数について
①保育園の定員が下がっている理由について
②放課後児童健全育成施設の延長利用状況について
②放課後児童健全育成施設の今後の利用者数の見通しについて
②放課後児童健全育成施設の支援員の配置について
②利用時間が延長されたことによる勤務時間について
③都児童センターの利用者の状況について
③有都交流センターへ移転することの関係者への説明及び賛否の声について
④臨時福祉給付金にかかる制度開始時の支給者数について
④平成28年度に転入されてきた方の生活保護申請理由について
④平成28年度に生産人口の20歳から50歳代の単身者が生活保護を申請した理由について
④ヘルプマークの配布状況について
④義足の方の公民館利用時の靴カバー使用について
④保育士の確保について
④障がい児加配保育士の勤務形態について
④資格のある保育士の配置について
④放課後児童健全育成施設支援員の勤務時間延長について

都市環境常任委員会

第2回定例会委員会報告（6月26日開催）

所管部から9件の報告

環境経済部3件、都市整備部2件、上下水道部4件の報告があり、質疑がなされました。

環境経済部

〈所管事項審査〉
（報告）①小型家電回収の実施について
②八幡市商工会の事業について
③観光案内所の休業日の設定について
④その他
（質疑）①携帯電話等の個人情報の取り扱い及び周知について
①回収日について
①回収した家電の売り払い収入の使途について
①燃えないごみの内、小型家電の量について
①売却価格について
①小型家電回収にかかる職員数と人件費について
①出前講座やイベント等での回収ボックス設置について
①小型家電回収の設置場所について
①小型家電回収にかかる国の認定事業者との契約について
②元気くじの詳細について
②元気くじの加盟店数と実績について
②プレミアム商品券事業の中止と事務局体制について
②京都府の介護返戻事業を実施することについて
②府下でプレミアム商品券事業を中止した市町村について
②商工会事務局長が不在になった理由について
②商工会への人件費助成について
②プレミアム商品券事業について
②元気くじ事業の規模、内容について
③観光案内所の会議の日の設定について
③新たな部会の内容について
③観光案内所の休業日を月曜日にする理由について
③観光協会の部会で中心となる方について
③レンタサイクル業務で休業日を設けている市町村について
③観光案内所休業日におけるレンタサイクル事業の維持について
③石清水八幡宮の国宝指定による観光案内所の来訪者の変化について
③観光協会の会員数の推移について
③観光協会の部会設置の人数構成について
④KES運用のメリットについて
④ステップ2へアップしない理由について
④KESへ切り替えた理由及び市内事業所への働きかけについて
④環境25団体との懇談会について
④再生可能エネルギーに特化した部署について
④再生可能エネルギー利用に向けた取り組みについて
④観光協会の体制について
④YAWATAビジネス交流事業について
④外国人のごみの分け方、出し方について
④ごみ袋の有料化について
④盛り土にかかる京都府との話し合いについて

都市整備部

〈所管事項審査〉
（報告）①淀川三川ふれあい交流事業　市制40周年記念事業　七夕まつりについて
②市営住宅等空家入居者募集について
③その他
（質疑）①七夕まつりのビデオメッセージの内容について
①昨年度の七夕まつりの来場者数について
①雨天の場合の対応について
①七夕まつりでのマイラン村との交流について
①七夕まつりのライトアップの時間帯設定について
②市営住宅における精神障害者や暴力団関係者の入居について
②市営住宅と府営住宅の各団地ごとの応募状況について
②新田団地の面積と土地利用計画について
②今回の市営住宅、府営住宅募集の戸数が少ない理由について
②住宅審議会の開催回数について
③川口グラウンド駐車場への進入について
③橋本駅周辺の整備事業について
③市内道路事業の進捗について
③男山金振地区の道路通行について
③市道科手土井線の整備状況について
③市営住宅、URのアスベストの使用状況について
③ゾーン30の設定基準について

上下水道部

〈所管事項審査〉
（報告）①八幡市水道事業経営懇談会について
②水道施設公開について
③社会資本整備総合交付金事業について
④例規集の構成の変更について
⑤その他
（質疑）①料金収入以外の費用の確保について
①水道施設の耐震化に向けての市民周知について
①水道施設の耐震化を阻害する要因について
①水道事業経営懇談会での委員の意見について
①水道事業の今日までの経営努力について
①基本料金の契約世帯数について
①基本料金の世帯で給水停止した件数について
①水道事業経営懇談会の料金専門部会で質疑された内容について
⑤下水道使用料の改定の検討について
⑤城南衛生管理組合による下水道管への投入時期について

総務常任委員会

第2回定例会委員会報告（6月27日開催）

八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案など5議案を可決

議案第26号・第27号・第28号・第29号・第30号を審査。

議案第26号では「育児休業を取得している職員数について」「変更点に適合する過去のケースの有無について」等5件、議案第27号では「支給対象の追加により対象となる人数について」、議案第28号では「特例により減税が適用された場合の影響額と国からの補てんについて」「今後の市税収入の見込みについて」等4件、議案第30号では「改正により加算額が増減する理由について」等5件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。議案第29号は質疑がありませんでした。いずれも討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。

また、付託案件の他に左記の報告及び質疑がなされました。

消防本部、議会事務局、監査委員・公平委員会事務局、会計課

〈議案審査〉
議案第30号　八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
（質疑）
・モデルケースでの増減額について
・年間の支給額について
・職員と団員との比較について
・扶養家族別の加算額について
〈所管事項審査〉
（報告）①その他
（質疑）①京都府総合防災訓練での小型ポンプ操法の披露について
①市内在住職員のうち消防団員数について
①旧府立消防学校の活用方法及び実績について
①救命講習会の講習内容の変化及び市民周知について
①消防緊急通信指令システムの体制について
①住宅用火災警報器の設置世帯数について
①地域、職場、事業所等の防災訓練件数について
①消防署へのいたずら通報の減少について

政策推進部

〈所管事項審査〉
（報告）①第4次八幡市総合計画の総括について
②八幡市駅前整備等観光まちづくり構想について
③インスタグラムの活用状況について
④淀川三川ふれあい交流事業　市制施行40周年記念　七夕まつり（マイラン村とのＳｋｙｐｅ交流）について
⑤その他
（質疑）①未達成部分にかかる第5次八幡市総合計画への引継ぎについて
①第4次八幡市総合計画の総括の所管委員会以外の配付について
①第4次八幡市総合計画の総括の活用方法について
①第4次八幡市総合計画にかかる「子ども」と「子供」の使い方について
①第4次八幡市総合計画の総括における重要な課題について
①人口減少を抑制する取り組みについて
②八幡市駅前整備等観光まちづくり構想の策定費用について
②八幡市駅前整備等観光まちづくり構想に基づく計画作成について
②駅前整備の実施について
②八幡市駅前整備等観光まちづくり構想の活用方法及び市民周知について
②観光まちづくりワーキンググループの構成について
②観光まちづくり構想の期間について
③インスタグラムの活用による市民の反応について
④スカイプ交流の生徒の選出方法について
④スカイプによる宝鶏市との交流について
⑤八幡八景の市民ＰＲについて
⑤生活情報センターにおける若者からの相談について

総務部、選挙管理委員会事務局

〈議案審査〉
議案第26号　八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案
（質疑）
・改正による現状との変更点について
・今後の職員確保の対策について
議案第27号　八幡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案
〈所管事項審査〉
（報告）①地域イントラネットワーク更新業務について
②平成29年度京都府総合防災訓練計画（案）について
③淀川洪水浸水想定区域図（Ｌ２浸想図）の公表について
④その他
（質疑）①地域イントラネットワーク更新に係る補正予算６５０万円の財源について
①地域イントラネットワーク更新の今後のスケジュールについて
②京都府総合防災訓練への自主防災隊と自治会の参加について
②京都府総合防災訓練にかかる各団体への訓練内容の説明について
②京都府総合防災訓練に宇治市、城陽市が入っていない理由について
②京都府総合防災訓練の参加団体数及び内訳について

市民部

②八幡市独自の防災訓練について
②京都府総合防災訓練にかかる現地調整所運用訓練について
②今後の市の防災訓練の考え方について
②京都府総合防災訓練の議会の対応について
③淀川洪水浸水想定の前提について
③庁舎建て替えに係る水害対策について
③淀川洪水浸水想定区域の面積での変化について
③災害対策と支援体制について
③災害時避難にかかる市民周知の取り組みについて
④公共施設管理計画と将来人口推計との整合性について
④文化センターと生涯学習センターの利用者数について
④病休、育休、介護、休職等の長期休暇の人数について
④年次有給休暇の取得状況について

〈議案審査〉
議案第28号　八幡市税条例の一部を改正する条例案
〈質疑〉
・控除対象配偶者及び配偶者特別控除の見直しの内容について
・わがまち特例の改正内容について

議案第29号　八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例案
〈所管事項審査〉
〈報告〉①平成28年度市税等収納状況について
②その他
〈質疑〉①本市と近隣市の平均との比較について
①本市徴収率の状況について
①過年度分の徴収率が低い理由について
②京都地方税機構へ移管前と移管後の徴収率の変化について
②差押え件数及び内容について
②納付相談の対応について
②京都地方税機構と市の窓口との連携について
②京都地方税機構における減免について
②運動団体の人権研修の参加について

委員会付託議案審査結果

文教厚生常任委員会の付託議案はありませんでした。
委員は、次のとおりです。（敬称略）　◎委員長　○副委員長
　◎小北 幸博、○関東 佐世子、田島 祥充、中村 正公、亀田 優子、清水 章好、横山 博

都市環境常任委員会の付託議案はありませんでした。
委員は、次のとおりです。（敬称略）　◎委員長　○副委員長
　◎鷹野 雅生、○巌 博、山田 美鈴、山田 芳彦、長村 善平、山口 克浩、岡田 秀子

総務常任委員会の付託議案審査結果は次のとおりです。（○＝賛成、×＝反対）
　※太田克彦委員長は、採決に加わっておりません。

議案番号	件　　名	議決結果	太田 克彦	奥村 順一	近藤 恒史	中村 正臣	森川 信隆	山本 邦夫	菱田 明儀
議案第 26 号	八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	－	○	○	○	○	○	○
議案第 27 号	八幡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	－	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	八幡市税条例の一部を改正する条例案	原案可決	－	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例案	原案可決	－	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	原案可決	－	○	○	○	○	○	○

平成29年 第２回定例会 議案・議決結果一覧表

平成29年第２回定例会の審議結果は次のとおりです。　（○＝賛成、×＝反対）　※森川信隆議長は、採決に加わっておりません。

議案番号	件名	議決結果	民主共生				共産党				みらい			公明党			みどり		自由		改新			無派
			長村善平	関東佐世子	近藤恒史	森川信隆	山本邦夫	中村正公	亀田優子	巌博	鷹野雅生	奥村順一	田島祥充	岡田秀子	清水章好	太田克彦	小北幸博	菱田明儀	中村正臣	山田芳彦	山口克浩	横山博		山田美鈴
報告第９号	平成28年度八幡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議決を要しない																						
報告第10号	平成28年度八幡市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	議決を要しない																						
報告第11号	平成28年度八幡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	議決を要しない																						
報告第12号	専決処分事件の報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	議決を要しない																						
報告第13号	専決処分事件の報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	議決を要しない																						
議案第26号	八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	八幡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	八幡市税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成29年度八幡市一般会計補正予算（第１号）案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第２号	北朝鮮による核実験及びミサイル発射の自制を求める意見書案	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第32号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　西川　吉之（にしかわ　よしゆき）氏の任命に同意しました。
※議案第33号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　辻　典彦（つじ　のりひこ）氏の任命に同意しました。
※議案第34号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　古里　治彦（ふるさと　はるひこ）氏の任命に同意しました。
※議案第35号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　上野　信昭（うえの　のぶあき）氏の任命に同意しました。
※議案第36号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　野村　一郎（のむら　いちろう）氏の任命に同意しました。
※議案第37号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　福井　仁司（ふくい　ひとし）氏の任命に同意しました。
※議案第38号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　長村　信幸（おさむら　のぶゆき）氏の任命に同意しました。
※議案第39号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　山村　敏昭（やまむら　としあき）氏の任命に同意しました。
※議案第40号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　中村　重俊（なかむら　しげとし）氏の任命に同意しました。
※議案第41号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　石田　光則（いしだ　みつのり）氏の任命に同意しました。
※議案第42号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　奥村　芳治（おくむら　よしはる）氏の任命に同意しました。
※議案第43号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　谷口　久美子（たにぐち　くみこ）氏の任命に同意しました。
※議案第44号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　佐野　安（さの　やすし）氏の任命に同意しました。
※議案第45号「農業委員会委員の任命について」は、原案の候補者　猪飼　美和子（いかい　みわこ）氏の任命に同意しました。

○意見書案第２号については、山田美鈴議員が賛成討論を行いました。

略称			
民主共生＝民主共生クラブ	共産党＝日本共産党八幡市議会議員団	みらい＝八幡みらいクラブ	公明党＝公明党議員団
みどり＝八幡みどりの市民	自　由＝自由クラブ	改　新＝やわた改新倶楽部	無　派＝無会派

暑中お見舞い申し上げます

虚礼廃止にご理解とご協力を！

公職選挙法の規定により、市議会議員は各自治会等が実施する夏祭りなどの行事に寄付すること及び、暑中見舞いを選挙区内にある方に送付することが禁じられています。

また、選挙区内にある方が市議会議員に対して、寄付を出すように勧誘や要求をすることも禁じられており、両者とも違反があった場合には処罰されます。

市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年第３回定例会の予定

9月 4日(月)本会議(開会日)	9月26日(火)本会議(決算以外の審議)
9月 5日(火)本会議(決算上程)	9月27日(水)決算特別委員会
9月 7日(木)本会議(一般質問)	9月28日(木)決算特別委員会
9月11日(月)本会議(一般質問)	9月29日(金)決算特別委員会
9月13日(水)本会議(一般質問)	10月 2日(月)決算特別委員会
9月14日(木)本会議(一般質問)	10月 3日(火)決算特別委員会
9月20日(水)常任委員会	10月 4日(水)決算特別委員会
9月21日(木)常任委員会	10月10日(火)決算特別委員会
9月22日(金)常任委員会	10月13日(金)本会議(閉会日)

＊定例会の予定は、今後変更となる場合があります。

◎第２回定例会傍聴者数　本会議34名　委員会０名